

荒川工業高等学校 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

○意欲的に進路選択ができる。

【意欲的に進路選択し、筆記試験にも臆することなく挑戦できる。】

○協働しながら目的を達成することができる。

【コミュニケーションを基に他人のモチベーションを向上させ、協働しながら目的を達成することができる。】

○暮らしの中での課題に気付くことができる。

【専門性を生かし暮らしの中での課題に気づき、解決策を提案・修正することができる。】

(2) カリキュラム・ポリシー

①主体的、対話的で深い学びの実践とPBLの手法を活用する。

②企業等との連携を推進するとともに「東京P-Tech」事業を確実に実施する。

③基礎的・基本的な学力の定着を図るため、個に応じたきめ細かな指導を推進する。

④生徒の興味・関心を効果的に高めるため、ICT機器を積極的に活用する。

⑤読書週間を設定し、本に親しむ習慣を身に付けさせる。(不読率50%以下)

⑥JETプログラムを活用し、英語に親しむ授業を実践する。

⑦課題研究発表会におけるプレゼンテーション能力の向上を図る。

⑧外部機関と連携した主権者教育・消費者教育等の充実を図る。

⑨オンラインでの学習支援体制の充実と授業の実践

(3) アドミッション・ポリシー

本校は電気・電子・情報技術科からなる電気系工業高校として、「ものづくり」を中心に基礎的な学力を身に付けさせている。また、資格取得に力を入れ、学習に対する意欲と社会に出て活用できる力を育てている。本校では次に示すような生徒の入学を期待している。

①電気工事、電子技術、情報技術、ロボット製作、ホームページ制作などに興味・関心があり、「ものを作る」

ことが好きで、すすんで取り組み、将来の進路に生かそうとする生徒

②服装・頭髪等の規則を守ることができ、他人を思いやる、礼儀正しい生徒

③免許・資格取得を積極的に目指す生徒

④部活動に積極的に参加し、学習との両立ができる生徒

⑤学校・地域での諸活動を積極的に行う生徒